

第8回 国際医療シンポジウム「ポストコロナの未来像」

概要

「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」（代表理事＝水巻中生氏・国際医療福祉大学大学院教授）は、12月4日（土）、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス（東京都港区）で、『ポストコロナの未来像—平和 多文化共生 連帯』をテーマに開催。未曾有のコロナ感染との戦いは、多くの教訓を我々に示唆しました。今回のシンポジウムでは、ポストコロナに焦点を当て、世界平和、国際連帯・共生のあり方が探求されました。

当日のプログラム

特別挨拶：

松本謙一（サクラグローバルホールディング（株）代表取締役会長、
（一財）松本財団 代表理事）

特別講演

特別講演1：「人間の安全保障の視点から考えるポストコロナの未来像」

長 有紀枝（「難民を助ける会」会長 立教大学 教授）

特別講演2：「日本の医療インバウンド政策～新型コロナ後に向けて～」

稲邑 拓馬（経済産業省ヘルスケア産業課長）

特別講演3：「東南アジアでの友好 人材確保」

福嶋 裕美子（福島学園・倉敷リハビリテーション学院理事長）

特別講演4：「コロナ感染と自然免疫」

渡邊 晶（（一社）メディカルライス協会 理事長）

指定発言

飯塚 陽子（東京大学附属病院 国際健診センター長）

金川 仁子（愛正会法人本部 経営研究開発室長）

丸木 一成（国際医療福祉大学 大学院 教授）

総合司会

遠藤 慶子（元東京医科歯科大学大学院 講師）

長谷川 フジ子（東京医療保健大学大学院 客員教授）

（一財）松本財団 理事）

当日の様子



【1】 第2590号

2021年(令和3年)12月11日

創業1924年 医療機器総合メーカー

感染対策機器

自動洗浄・除染・乾燥装置、滅菌コンテナ等

株式会社 エムエス

本社 東京都文京区本郷3-26-12 TEL: 03-3814-1026

営業所: 大阪・福岡 サブセンター: 徳島・仙台・名古屋・岡山

日本医科器械新聞

発行所 株式会社日本医科器械新聞社 〒173-0033東京都板橋区大山西町54-12-404 電話(5926)4214 FAX(5926)4215 (1948年1月1日創刊・毎月1、11、21日発行) 購読料1年分 7,000円 E-mail: ikakikaisinbun@carrot.ocn.ne.jp

http://www.nikkamicro.co.jp

無菌技術55年の専門メーカー

クリーンルーム/安全キャビネット
アイソレーター/オゾン水生成装置

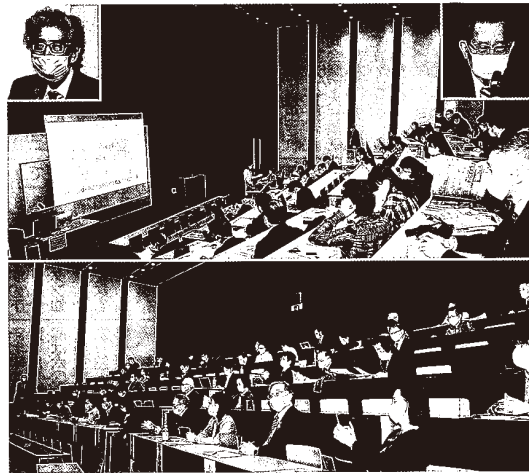
日科ミクロン株式会社

埼玉県三郷市早稲田3-15-5 TEL: 048-950-2311 FAX: 048-950-2323

国際医療シンポジウムを東京・赤坂で
ポストコロナの未来像をテーマに

医療・介護の安全保障を推進する民間会議

武力つまり軍事力の強化、行使ではなく、医療、介護を通じてアジア各国、関係者との友好の輪を広げ、国際貢献し、日本の医療・介護制度、ノウハウを世界に広げ、人財育成することで対立の構図を改善、解し安全保障を構築することを目的とし、医療、介護の研究センター病院、介護施設関係者の有志が中心となって設立された「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」(代表幹事・水谷中正氏: 国際医療福祉大学大学院教授)では、十二月四日午後より「ポストコロナの未来像」平和と多文化共生連帯を国際医療シンポジウムを東京赤坂キャンパス3階の多目的ホールで開催した。



正視・斜視

「昨年度病院経営」コロナ補助金で黒字確保
診療報酬上げは?

厚生労働省は医療機関の経営状況を調べた「医療経済実態調査」をこのほど公表した。それによると、新型コロナウイルスの流行に伴う受診控えなどの影響で、二〇二〇年度の一般病院の損益率は、六・九％の赤字となり、一九年度二・一％の赤字から更に悪化していることが明らかになった。しかし病床確保確保などコロナ関連の補助金を含めると、四割の黒字を確保している。

調査は、医療サービスや薬の公定価格である診療報酬を改定する際の基礎資料の一つとなっている。厚生労働省は、損益率の悪化を補助金で支えた。と分析している。一方、日本医師会側では、補助金頼みの経営は不安定。として報酬の引き上げを要請していると、経営実態は近年に大きく好転していると、経営実態は近年に大きく好転していると、

時ではなく、有事と位置づけロックダウン(都市封鎖)する国が相次いだ。日本の対応は後手、後手に回り、二〇二〇年東京オリンピックは延期を余儀なくされ、本年夏実施されたが、無観客、簡素化という異例の開催となった。

新型コロナウイルスの発生は未だに限定されておらず、中国はWHOの調査に協力せず、資料提供を拒否しており、科学的説明、透明性に欠ける。感染者、死者は世界で増え続けているが、各国の対応はまちまち。ワクチンの開発は進み、二〇二二年から接種者は急増している。しかし、国によって接種率は異なり、発症後上国やアフリカでは普及していない。WHOは三回目の接種の実施も途上国等への接種を急ぐよう呼びかけている。

真相の解明を促進し、自国優先主義を排し、国際協力、連帯、救済を図るべきである。「民間会議」の目的は国際交流、貢献、連帯の推進であり、医療、介護の研究センター病院、介護施設関係者を中心として、二〇一四年五月に設立された。八月目を迎えた今年「ポストコロナ」に焦点を当て、世界平和、国際連帯、共生を追求します。世界では戦争、内紛が絶えず、多くの人が犠牲となりました。人種差別、宗教対立、偏見が改善するどころか、深刻化しています。今こそ、戦争を克服し、平和主義、人権の擁護、正義を掲げる国際共生の新たな考え、理想が必要なのではないでしょうか。開会挨拶にあたり、国際社会において、「共に生きる」意義、国際共生の実現を掲げた「と述べ

Matuda
縫合針、縫合糸、各種
針付心臓用から、0.05mmマイクロまで
松田医科工業株式会社
文京区湯島2-13-4 ☎3814-8911

また、サクラグループの松本謙一代表取締役会長から特別挨拶が行われ、同会長は「未来創造は、歴史」を経営として「感性」からと題して、中国の歴に、醫學は歴史に学ぶとある。改めて考える。その通りかと思つた。

明るい未来への課題としては、グローバル化、人財育成、医療DXへのチャレンジである。同じが一九六九年にキューバに初訪問して以来、回国における医療機器の現地生産、経済活動を行い、中でも強く印象に残っていることは、キューバの父と称されたフィデル・カストロ国家評議会議長との親交をあげ、そのカストロ議長と初対面があり、自分たちは革命的な主義者ではない。万民平等主義を信奉する社会主義者である」と強調された。一言は今でも脳裏に鮮明に残っているという。人財育成においては、内外において育成であり、サクラ社長長野アインさん、タムさん、能楽習生が施設技術や溶接技術等技能の習得に努めている。

医療DXへのチャレンジでは、人に寄り添い、すべては未来に繋

(1) 第2559号 2021年(令和3年)12月20日



水巻代表理事

コロナ対応は自国優先でなく連携を

「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

『国際医療シンポジウム』開催

医療・介護の安全保障を推進する民間会議

「ポストコロナの未来像」テーマに



「国際医療シンポジウム」会場の様子

「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。



松本会長

明、透明性が欠ける。また、ワクチンの開発は進み、21年から接種者は急増しているが、国によって接種率は異なり、発展途上国では普及していない。WHOでは30回目の接種の実施より、途上国への接種を急ぐよう呼びかけている」と語り、自国優先主義を排し、国際協力、連携、救済を図るべきだと強調した。

未来創造は歴史と経験そして感性

次いで、サクラダロハルホールディングの松本一会長が登壇し、「未来創造は歴史と『経験』そして感性から」と語り、歴史から「患者は歴史に学ぶ」、患者は経験に学ぶ」と語り、特別あいさつを行った。松本会長は明るい未来への課題として、①

グローバル化の人材育成②医療DXへのチャレンジの3点を挙げ「グローバル化は昔は国際化と同じでしたが、現在ではより高い次元でグローバル化として進展している。人材育成は国内だけでなく、海外で人材を育て、育成していくことが大事になる。医療DXはAIやIoTなど、とんぱん進歩しているが、常に人間あつての進歩が必要だと思う。それぞれのポイントを説明した。」

1980年代にユニバーサル同社が工場を建て、医療機器を製造していた経緯について「フィデル・カストロ

氏から『盟友のチェ・ゲバラは暴力革命で人々を幸せにしたが、私は暴力を好まない。平和主義で万民平等にするのが私のミッションだ』といわれ、それに同感して、その場で握手を交わし、工場を建設することを決めた」と回顧し、それぞれの国の文化は違っても、信念が共感できれば国際共生が可能だ一例を示した。

また、同社ではベトナムからの技能実習生を受け入れていることにもふれ「これからは持続可能な多様性の文化が大事になってくる。すべては未来につながる。他人があつての自分、他国があつての自国、この精神がなにより大切だ」と述べた。

引き続き、特別講演として、難民を助ける

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

新型コロナウイルスに克つ!

自費でPCR検査を受ける場合は注意が必要

新型コロナウイルスの検査は発熱や咳などの症状がある人、感染者の濃厚接触者(新型コロナウイルスに感染していることが確認された人と近距離で接触、あるいは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている人)であれば、保健所や医療機関で自己負担なしで検査を受けることができます。

ただし、仕事で海外に行く場合に相手国や勤め先から検査証明を求められる場合、帰省など、社会経済活動のために検査を受ける場合は自己負担、となります。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。

「『医療・介護の安全保障を推進する民間会議』(代表理事)水巻正氏。国際医療福祉大学大学院教授。は1月4日午後1時30分から、国際医療福祉大学東京赤坂キャンパス(東京都港区)で「国際医療シンポジウム」ポストコロナの未来像―平和と多文化共生 連携を問う―を開催した。